

産官金連携による歴史的資源を活用した観光まちづくり

愛媛県大洲市／令和元年竣工

愛媛県大洲市は、江戸期の城下町として発展し、明治以降は木蠟や製糸業で栄えた地域です。現在も歴史的価値の高い古民家が多く残る中心市街地では、官民連携による観光まちづくりが進められています。

その中核を担うのが、DMO「キタ・マネジメント」と、子会社「株式会社 KITA」です。両者は、地域金融機関および古民家ホテル事業に精通した民間事業者と連携し、戦略的に分散型ホテルを展開するなどの古民家再生プロジェクトを推進しています。

これらの取組は、老朽化や所有者不在により進行していた古民家の「ブルーシート化」「空家化」「空き地化」を食い止めようとする市民・行政・民間の勉強会・活動を経て策定された「観光まちづくり戦略ビジョン」に基づいて展開されています。

観光に軸足を置きながら、インバウンドを含む来訪者の増加を図るとともに、意欲ある地域内外のプレイヤーを受け入れ、まちに新たな活気をもたらすことで、シビックプライドの醸成を目指しています。

古民家ホテル事業については、全国各地で実績を持つ先駆的な事業者が運営を行い、現在も着実に発展を続けています。その原動力は、この地を愛する大洲市民の地道で誠実な活動にほかなりません。地域内の駐車場を一体的に管理・運営するなど、地域密着型の仕組みづくりを通して、持続可能な観光まちづくりのモデルを構築しています。

事業概要

所在地

愛媛県大洲市

土地面積

約 8,000 m²

事業主体

一般社団法人キタ・マネジメント

管理運営主体

株式会社 KITA

主要施設

愛媛県大洲市の城下町にある歴史的資源である町家・古民家など 36 棟

事業スキーム

不動産投資専門会社の株式会社 KITA を一般社団法人キタ・マネジメント、(株) NOTE、伊予銀行グループとともに設立して投資資金を集中させて不動産投資を実施。

取組のポイント

- 大洲市主導の DMO の傘下に不動産事業を行う株式会社を設立し、DMO がソフト戦略、株式会社が不動産投資・リノベーション工事と、役割を分担して協同で取り組んでいること。
- 古民家のブルーシート化が進行する時期に、先行事例の研究や推進体制の検討と並行して、空き家の清掃・維持修繕を行う NPO を立ち上げ、活動を通じて損傷の進行を抑止しながら所有者とのつながりを構築したほか、古民家を活用したイベントを企画し、古民家所有者に保存・活用の可能性を示したこと。
- 古民家の活用方法は、所有者の意向を尊重し最低限の改修にとどめるなど、様々な活用手法を導入していること。
- 地元住民・事業者が古民家を活用した事業を行い自走を目指すとともに、地域外からもコンセプトに合う事業者を誘致し、域内における店舗構成のベストバランスを意識し実践していること。



お問合せ先 一般財団法人都市みらい推進機構

Tel : 03-5261-5625 e-mail : tochi_taisho@toshimirai.jp

IFUD
Institute for Future Urban Development